

人生の最終章どう生きますか 自分で決めたい、自分のこと



人生には必ず終わりがきます。どうせ終わるなら、出来る限り、苦痛から解放され、少しでも平穏な気持ちで、自分の望む場所で、その時を迎えたいのではないのでしょうか。もし、そう考えるのであれば、可能な限り、情報を集め、自らのためにも、大切な人のためにも、そのための準備をしておくことは重要なことだと思います。

在宅緩和ケア充実診療所
ケアタウン小平クリニック

院長 山崎 章郎 先生

山崎 章郎先生プロフィール

1975年、千葉大学医学部卒業、同大学病院第一外科勤務。1984年、千葉県八日市場市（現匝瑳市）市民病院消化器科医長。1991年、聖ヨハネ会桜町病院ホスピス科部長。2005年、在宅診療専門診療所ケアタウン小平クリニック院長

著書：『病院で死ぬということ』 『家で死ぬということ』 『「在宅ホスピス」という仕組み』

日 時：10月24日14:00～16:00

場 所：三鷹産業プラザ7階会議室

参加費：1,000円

定員は先着200名です。事前に申し込みをお願いします。

(メール) knarikiyo@gmail.com (携帯) 080-1362-5359 (8:00～20:00)

(FAX) 0422-47-7919 (住所、お名前、連絡先をお書きください。様式自由)

主 催：みたか・みんなの広場運営協議会

後 援：